

2025年度入学者選抜について（情報科学部）【第3報】

2025年度入学者選抜における、情報科学部のアドミッション・ポリシー等について下記のとおり公表します。

記

1 アドミッション・ポリシー等の変更

情報科学部の「アドミッション・ポリシー」を変更し、これに伴い「特に求める人物像」、「重点評価項目」等を別紙のとおりとします。

2 一般選抜の個別学力検査の出題範囲等

情報科学部の教科・科目名と出題範囲等は以下のとおりです。

【前期日程】

教科・科目名	出題範囲	試験時間 (配点)
数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲは全範囲から出題します。 数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」の範囲から出題します。	120分 (400点)

【後期日程】

教科・科目名	出題範囲	試験時間 (配点)
情報（情報Ⅰ）	「情報Ⅰ」の全範囲（「情報社会の問題解決」、「コミュニケーションと情報デザイン」、「コンピュータとプログラミング」、「情報通信ネットワークとデータの活用」）から出題します。ただし、「コミュニケーションと情報デザイン」については「情報のデジタル化」の範囲から出題します。	90分 (300点)

情報科学部の「アドミッション・ポリシー」, 「特に求める人物像」, 「重点評価項目」等の変更箇所を赤字表記しています。

情報科学部アドミッション・ポリシー

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い, 我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。情報科学部では, このような複雑化する社会に対応するため, 情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け, 高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。そのため, 情報科学部では, ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ, 次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

(関心・意欲)

情報工学・情報科学に関心があり, 自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに, 学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人

(知識・技能)

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき**情報**, 数学, 理科及び語学の知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- ・物事を多面的にとらえ, 論理的・合理的に思考して判断することができる人
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人

(主体性・協働性)

- ・情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人
- ・多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ, 課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ, 各試験区分において, 特に求める人物像, 重点評価項目, 配点

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	試験 区分	一般選抜(155名)		総合型選抜 【10月】 (5名)	学校推薦型選抜 【11月】 (市内25名, 全国25名)	外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)								
		前期 【2月】 (120名)	後期 【3月】 (35名)											
		特に 求める 人物像												
		幅広い分野の基礎知識を備え, 数学の総合的な知識・技能を持つ人。論理的に思考し, 説明できる人	情報科学の土台となる基礎知識・技能を持ち, それらを課題解決に活用できる人。論理的に思考し, 説明できる人	情報科学に深い関心があり, 積極的に学ぶ意欲を持ち, 新しい情報科学技術を創造したい人。数学またはプログラミングの知識・技能に自信のある人	情報科学に関心・学修する意欲を持ち, 学んだことを活用して社会の課題解決に貢献する熱意がある人。そのために, 他人と協調して主体的に活動できる人	情報科学を学ぶのに必要な日本語能力と数学・理科・語学の基礎的な知識・技能を持つ人。情報科学を学修する意欲のある外国人留学生								
細目		全体 1200	全体 900	1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し, 募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	全体 400	全体 1100								
		大学入学 共通テスト	数学	大学入学 共通テスト	情報	1次選考	2次選考	総合 問題	面接・ 出願書類 (志願理由 書, 活動 報告書)	日本 留学 試験	数学	面接		
		800	400	600	300	50	50	100	100	200	200	400	400	300
関心 意欲	情報工学・情報科学に関心があり, 自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つ人			◎		○	◎			◎	◎			◎
	学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人									◎	◎			
知識 技能	情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき 情報 , 数学, 理科及び語学の知識・技能を有している人	◎	◎	◎	○	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
	幅広い基礎知識を有している人													
	有している知識・技能の応用・発展ができる人	○	○	◎	◎									
思考力 判断力	物事を多面的にとらえ, 論理的・合理的に思考して判断することができる人	◎	○	◎	◎					◎	◎	◎	◎	
表現力	自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人	○	○	◎	◎					◎	◎	◎	◎	
主体性 協働性	情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人									◎	◎	◎	◎	○
	多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ, 課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人									◎	◎	◎	◎	◎

※ 表中の◎, ○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。